



お風呂でなぜ声^{こえ}がひびくの

お風呂で歌^{うた}が上手^{じょうず}に聞こえる^き

お風呂に入ったとき歌^{うた}をうたうと、なんだかよくひびいて、とても上手^{じょうず}になったように聞こえてきますね。

音^{おと}は空気^{くうき}のしん動^{どう}で固^{かた}いものにぶつくと、はね返^{かえ}ってくる性質^{せいしつ}があります。これは、音^{おと}の反^{はん}しゃといわれています。

お風呂の壁^{かべ}は、タイル^{かた}など固^{かた}いものでできている

お風呂の壁^{かべ}は、タイル^{かた}やセメント^{つく}など固^{かた}いもので作^{つく}っており、空気^{くうき}のにげる出口^{でぐち}がないため、反^{はん}しゃした音^{おと}がよく聞こえてくるのです。

歌^{うた}をうたうと、直接^{ちよくせつた}伝^{でん}わるしん動^{どう}のほかに、反^{はん}しゃした音^{おと}が重^{かさ}なって聞こえてくると、強^{つよ}く豊^{ゆた}かな音^{おと}になり、なんだか上手^{じょうず}になったように聞こえてくるのです。

こうした反^{はん}しゃする音^{おと}のことを、反^{はん}きょうといいます。

ふつうの部屋^{へや}は、開^{ひら}いているところから音^{おと}がにげて、反^{はん}きょうは起^おこりにくいのですが、お風呂^おはしめきった部屋^{へや}なので、反^{はん}きょうが大きいのです。(監修 小川 格)

